

議会だより

ひだか

第176号

令和6年1月25日



三十歳を祝う式典

| | | |
|-------------------|---------|-----|
| 物価高騰対応重点支援給付金 7万円 | 補正予算 | 2 |
| 消火用ホース格納箱に補助を | 一般質問 | 4～6 |
| 有害鳥獣対策 | 委員会レポート | 7～8 |

【発行】 日高町議会 〒649-1213 和歌山県日高郡日高町大字高家626

【編集】 議会広報特別委員会 TEL (0738) 63-3810 Eメール gikai001@town.wakayama-hidaka.lg.jp

12月定例会

令和5年第4回定例会は12月12日から20日までの9日間の会期で開催した。

今定例会では、令和5年度補正予算・条例など議案13件、発議1件が提案され、慎重審議の結果、原案の通り可決した。

令和5年度一般会計補正予算

既定の予算額に1億383万円を追加し、総額56億2,394万8千円とする。

— 主な増額の内容（歳出） —

- ・住民基本台帳システム及び戸籍情報システム改修業務委託料で1,331万円
- ・障害福祉サービスシステム改修委託料で110万円
- ・介護保険特別会計並びに後期高齢者医療特別会計へ繰り出しで610万9千円
- ・住民税非課税世帯に対する物価高騰対応重点支援事業費で6,545万円
- ・辰井堰操作室の移設に伴う維持管理用の用地購入費で32万1千円
- ・温泉館の水中ポンプ取替工事で513万円

システム改修業務

問 住民基本台帳システム及び戸籍情報システム改修業務委託料の説明を。

住民生活課長 住民票や戸籍等に氏名のふりがなを記載し、またマイナンバーカードへの氏名のふりがな及び、ローマ字表記等ができるようにするために必要な、各システムの改修を行うための費用。

物価高騰対応重点支援給付金

問 物価高騰対応重点支援給付金の詳細説明を。

住民生活課長 電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金と同様に、住民税が非課税の世帯に7万円を給付する。

1回目の給付時期は令和6年2月13日を予定している。

前回支給対象者であっても、受けるかどうかの意思確認と振込口座の変更を行う可能性も考慮し、対象世帯には通知を送る。

温泉館水中ポンプ取り替え工事

問 温泉館の水中ポンプ取替工事の説明を。

企画まちづくり課長 当初予算ではオーバーホールを予定していたが、水中ポンプを分解したところ部品の摩耗や腐食が著しく進んでいたため、オーバーホールでは対応が出来なくなった。

このため、オーバーホールと取り替え工事の差額を追加計上した。



「みちしおの湯」の泉源施設

条例改正

◎日高町国民健康保険税条例

出産する被保険者の所得割額及び均等割額について、出産前後の期間の国保税を減額するもの
問 減額の内容は。

税務課長 単胎妊娠で4ヵ月、多胎妊娠で6ヵ月間が減額となる。

◎日高町使用料及び手数料徴収条例

戸籍謄本の交付について、本籍地以外で謄本などの交付事務（広域交付）が追加されたことによる条例改正

問 具体的には、どう変わるのか。

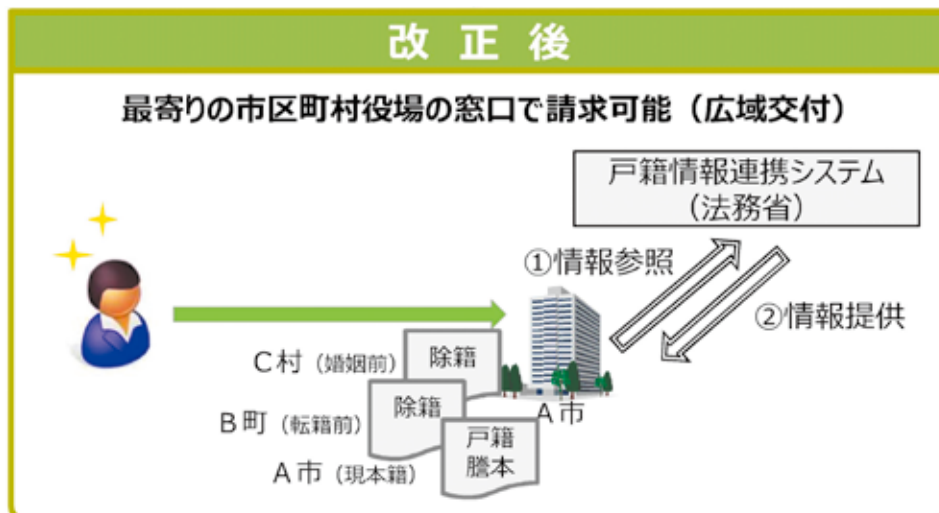
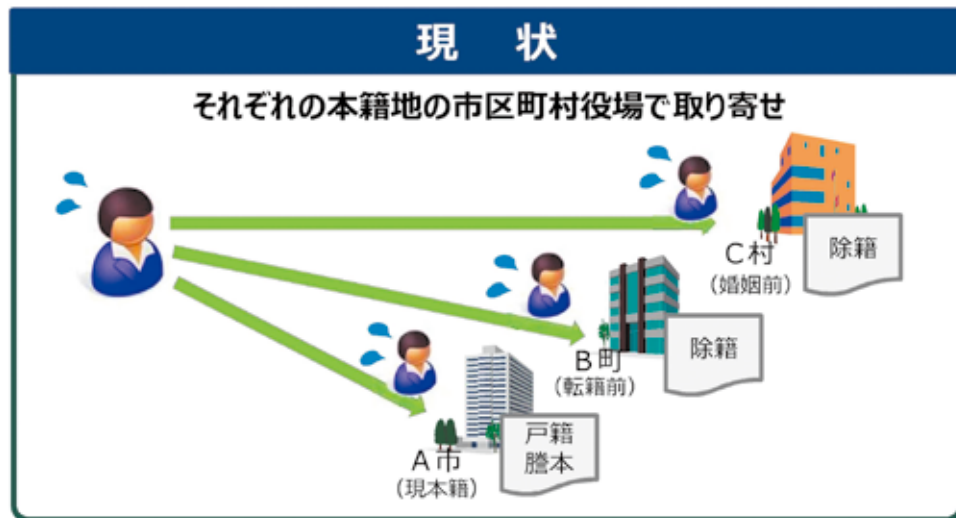
住民生活課長 自分や父母などの戸籍謄本が、本籍地以外の市区町村窓口で交付可能となる。相続や名義変更に伴う続柄の証明などの際に、現在地の役所で謄本の交付を受けることができる。

教育委員会委員



岩下 麻祐子 氏
(阿尾)

教育委員会委員として任命したいと議会に同意を求められ、全員一致で同意をした。





しば みつひろ
芝 充彦 議員

防災力パワーアップ補助金活用の周知を 町長 自主防災連絡協議会通じて行っていく

問 家具転倒防止金具について、L型金具以外での補助金を出してはどうか。

町長 L型金具以外でも補助金は活用できる。

問 広報やチラシをみるとL型金具のイラストになっていてL型以外補助金の活用が出来ないのでと勘違いする人もでてくるので、早急に誰がみても分かるイラストに変更し、周知していくべきでは。

町長 他の種類の器具も十分に活用していただけるように、広報・ホームページに掲載して早急に対応していく。



つっぱり棒も補助対象

問 わかやま防災力パワーアップ補助金については、県が1/2、町が1/2の補助率となっており、令和4年度においては当初見込み額を大幅に下回っている状況であり、折角の補助金であるのでもっと利用すべきである。対象事業として8項目があり、日高町自主防災連絡協議会が先頭となって活用していくべきでは。

町長 行政からも積極的に対象事業を紹介し、今後補助金活用に取り組んでもらう形が大切であると思う。



補助対象となる資材・物資

問 そのためには、それぞれに防災スペシャリストとして、防災プロを育て一緒になって補助金を活用していくのが理想と考えるが。

町長 その思いというのは大事であり、防災力を高めるためには理想だ。地域とお互いに協力しながらバックアップできることはしっかりとしていく。

今後、日高町自主防災連絡協議会を開催し、資機材の購入、研究に要する費用など周知していく。

わかやま防災力パワーアップ補助金対象事業

1. 要配慮者支援対策
 - (ア) 家具等の転倒防止対策
 - (イ) 感震ブレーカーの設置
2. ブロック塀耐震化促進
3. 津波対策など
4. 自主防災組織の設置、活動促進
5. 防災意識の普及促進
6. 地域防災拠点等施設整備
7. 津波避難計画等策定支援
8. 地震・津波災害からの復興計画の事前策定支援

やまなか まさつぐ
山中 雅嗣 議員



消火用ホース格納箱の設置・買替えに補助を 町長 事業創設に前向きに考える

山中 日高町内の各地区にある消火栓には、付近にホース格納箱が設置されているものもある。その設置・維持・管理は各区に任されている。

地域によって車両の入らない場所もあり初期消火の面でも必要な設備だと感じるが、経年劣化により傷んでいるのも出てきており格納箱・ホース共になかなか高額である。

自治体によっては設置・買替え費用に補助制度があり、日高町でも補助事業を創設できないか。

町長 日高広域消防本部からの距離や道路幅、初期消火の面でもホース格納箱は必要な設備だと理解している。

一方、地域によって必要性に差があるのも事実である。

現在各地区に設置してあるホース格納箱の状況・必要性などを含め、検討したい。

山中 必要性や状況など、どのような調査をするのか。



塩害と経年劣化で腐食



消火用ホース格納箱

町長 いざという時に地域の自主防・消防団が実際に使えるかどうか重要である。

今後、格納箱の劣化状況、扉の開閉状態を確認し、またどのような基準で補助対象とするか、今後補助事業の創設に向け前向きに考えていきたい。

山中 いざという時に消防団以外の方も、使えるように設置してあるものだと思う。

いつ起こるか分からない火災や、地震による家屋の倒壊後に起こりえる火災に、時間帯によっては思うような活動が出来ない消防団員も出てくるのでは。

やはり、団員だけでなく自主防災組織の活動である初期消火や、共助の取り組みのひとつとしても消火用ホース格納箱も使えるようにしておかなければならないと考える。

町長 地域の火災を少なくするという思いで地域の皆さんに取り組んでいただくためにも一度、調査し取り組んでいきたい。



にしおか かなこ
西岡 佳奈子 議員

司書の正規採用と増員を 教育長 現状では学校支援員の配置を要望

司書の増員を

西岡 司書は現在、会計年度任用職員1名が学校と公民館図書室を兼務している。正規採用と増員を。

教育長 令和2年度に司書が配置され、中央公民館図書室と学校図書室の業務改善と図書室利用の促進等に大きく寄与した。司書の正規職員採用と増員は、図書室の充実になると考えるが、学校が求めるものは、児童生徒の多様な学びに対応する支援であり、学校支援員の増員が要望である。教育委員会としても学校を支援していきたい。

西岡 文部科学省の第6次「学校図書館図書整備等5カ年計画」では、小・中学校のおおむね1.3校に1名の配置を、将来的には1校に1名の配置をめざすと示されている。この計画の立場に立つべき。

教育長 司書の充実は必要と思っているが、今、学校では、学校支援員の要望があり、そちらを優先してほしいというのが現状である。

西岡 学校支援員の増員を優先してほしいから、司書の配置要望を抑えるというのは違うのではないか。教育委員会として第6次計画の立場に立つて司書の配置要望をしていただきたい。



内原小学校図書室

図書的时间外返却ボックス設置を

西岡 公民館図書室の時間外返却ボックス設置を。

教育長 設置を考えたい。

西岡 時期や内容等の具体的な計画は。

教育長 現時点では決まっていない。利便性が高い物を考えていきたい。



美浜町の取組み

蔵書のウェブ検索システムを

西岡 和歌山県内図書館間横断検索、図書館間相互貸借サービスの導入を。

教育長 費用面で導入を見送っている。



公民館図書室

西岡 中央公民館図書室の蔵書について、インターネットを経由しての検索ができない。この状態にあるのは、日高管内では当町だけで、県内でも少数である。検討を。

教育長 和歌山県内図書館間横断検索、図書館間相互貸借サービスについては、もう一度検討し、できれば実現したい。中央公民館図書室のウェブ上での蔵書検索についても研究したい。

— 他の一般質問 —

自衛隊員募集事務に関わっての個人情報提供について、提供状況の住民への周知、提供名簿からの除外申請制度の創設を。

委員会レポート

産業教育常任委員会

有害鳥獣対策

去る11月21日、22日、『有害鳥獣対策等について』県外視察研修を実施した。

兵庫県丹波市にある兵庫県森林動物研究センターは、野生動物の生態、生息地、獣害対策をおこなう研究施設である。有害鳥獣による農作物への食害防止などについて、同センターから説明を受けた。



兵庫県森林動物研究センターにて

集落に野生動物を寄せ付けないため、『エサをなくす、環境改善、囲い込む、追い払う、捕獲する』などの取り組みを継続的におこなうことが大事であると聞いた。日高町でも各農家が電気柵、トタン柵の設置、猟友会による有害鳥獣駆除を実施している。稲を収穫したあとのヒコバエや農作物収穫時に出た出荷できない野菜を放置せずエサ場をなくし、個体数を減らすことや、緩衝地帯（バッファゾーン）を整備することで野生動物の隠れ家や棲み家を減らしていくことなどは、是非、日高町でも推奨すべき対策ではないかと感じた。

鹿肉をペットフードに

兵庫県多可町にあるNPO法人Cambio（カンビオ）では、はじめに鹿の解体処理をしている現場やペットフード製造工場を視察した。その後、同法人から『多可町の課題解決からビジネスに』、『24時間鹿ポスト』などの説明を聞いた。

多可町で鹿処理に困っていたことに着目し、同法人が町内および町外で捕獲した鹿を引き受け有効利用できるよう、町内で遊休施設であった給食センターをペットフード製造工場に改修、就労継続支援B型の福祉事業所として再生している。同施設で製造した鹿肉のドライフード、背肉のジャーキーなど販売をしているとのことであった。

『24時間鹿ポスト』は、コンビニエンスストアからヒントを得て、24時間いつでも捕獲した鹿を持ち込める冷蔵庫を備え、狩猟者にも喜んでもらえているとの事であった。

『有害鳥獣対策等について』は、日高町でも農作物の被害を受け、深刻な問題となっていることから、被害防止対策の推進や継続的な有害鳥獣の捕獲を町執行部に求める。



鹿ポスト前で説明を受ける（Cambio）

委員会レポート

総務福祉常任委員会

総務福祉常任委員会は、去る10月27日、継続調査である「6月豪雨災害とその後の対応などについて」と「住民票等のコンビニ交付について」の調査研究をおこなった。

豪雨災害とその後の対応

6月豪雨災害とその後の対応などについて、総務課長より町内における被害件数のとりまとめ等の報告を受けた。9月議会で同僚議員が一般質問をした災害見舞金の支給について、進められているのかとの質疑に対して、執行部としては、要綱を策定し、本年6月の豪雨災害に対応できるよう準備しているとの回答を得た。



委員からは、「床下浸水は対象とならないのか」「農地の被害は支給されないのか」や「大規模な災害に備えて基金を創設できないのか」などの意見があった。

当委員会としては、被害にあわれた町民に見舞金が早急に支給され、経済的負担の一助になることを切に望むものである。

住民票のコンビニ交付 令和6年度実施へ

住民票等のコンビニ交付について、住民生活課長より導入に向けた行程の説明を受け、自治体基盤クラウドシステムの申し込みを早い段階で済ませ、令和6年度当初予算を要望し、可決できたら、事業実施にむけ電算ベンダーに委託し、住民票および印鑑証明書がコンビニエンスストアで発行できるように取り組んでいく。という回答を得た。

今後は早期の運用開始に向け取り組み、将来的には町民の利便性向上にむけて順次、税関係証明書なども発行できるよう執行部に求めた。

お詫びと訂正

前号（第175号）4ページのがん患者医療用補整具の説明のなかで、子育て福祉健康課長の答弁「補整乳房と補整下着が2万円」となっていますが、正しくは「乳房補整下着が2万円」です。訂正してお詫び申し上げます。

編集後記

2050年の県人口は63万人との見通しが示された。50%を切る減少率の大きい県下の町村数は10町村にもなる。

人口減少は全国的な問題だが私達の町も90%で今後増えることはなさそうだ。早急に雇用の問題、充実した子育て環境等をさらに取り組み、強化する事が必要である。今年はやドシエアが本格的な制度議論になってきて、まもなく部分解禁となるようである。

制度の変更にはかなりの困難が予想されるが、価値はあると感じる。

人口が減っても高齢化率は高くなるばかりであり、当町の外出支援事業とマッチングすれば大いにメリットがあり、期待したい。

清水 正巳

義援金

能登半島地震被災地の一日も早い復興を願い、日高町社会福祉協議会を通じて、議会から義援金を送りました。